

保護者アンケート集計結果（藤山台小学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日(月)から6月6日(金)まで	
調査対象	藤山台小学校に通っている児童の保護者	坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、藤山台小学校に通学する予定の児童の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム「Home&School」から回答	各園から保護者への連絡システム又はQRコード付きチラシから回答
児童数	337人	—
Home&School 通知数	381人	—
回答数	127人	53人
回答率	33.3%	—

◆報告書に使用されている略語の説明

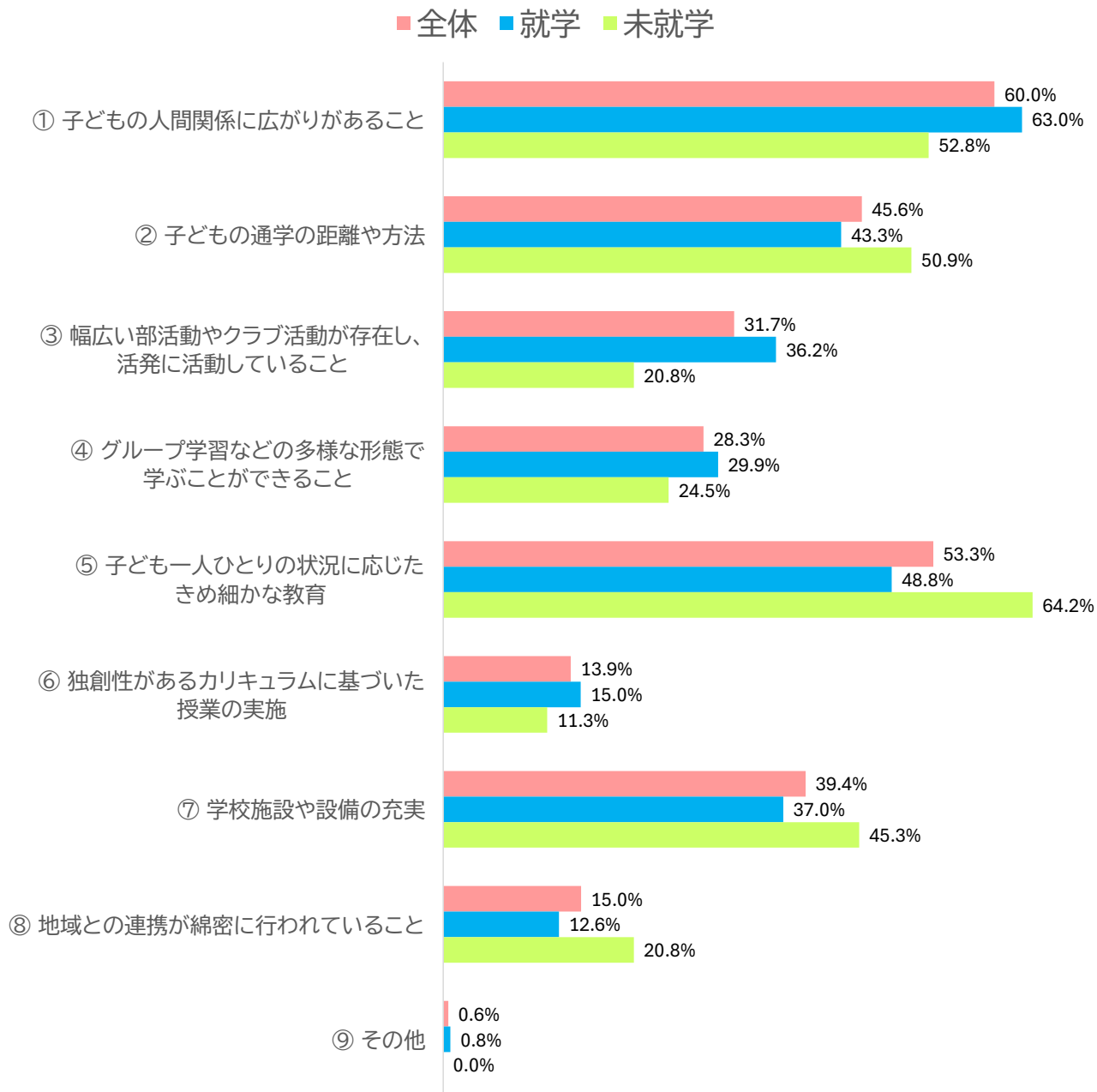
「就学」は、藤山台小学校に通っている児童の保護者の回答

「未就学」は、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、藤山台小学校に通学する予定の園児の保護者の回答

子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係に広がりがあること」、「⑤ 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」が多くなっています。



「⑨ その他」の回答

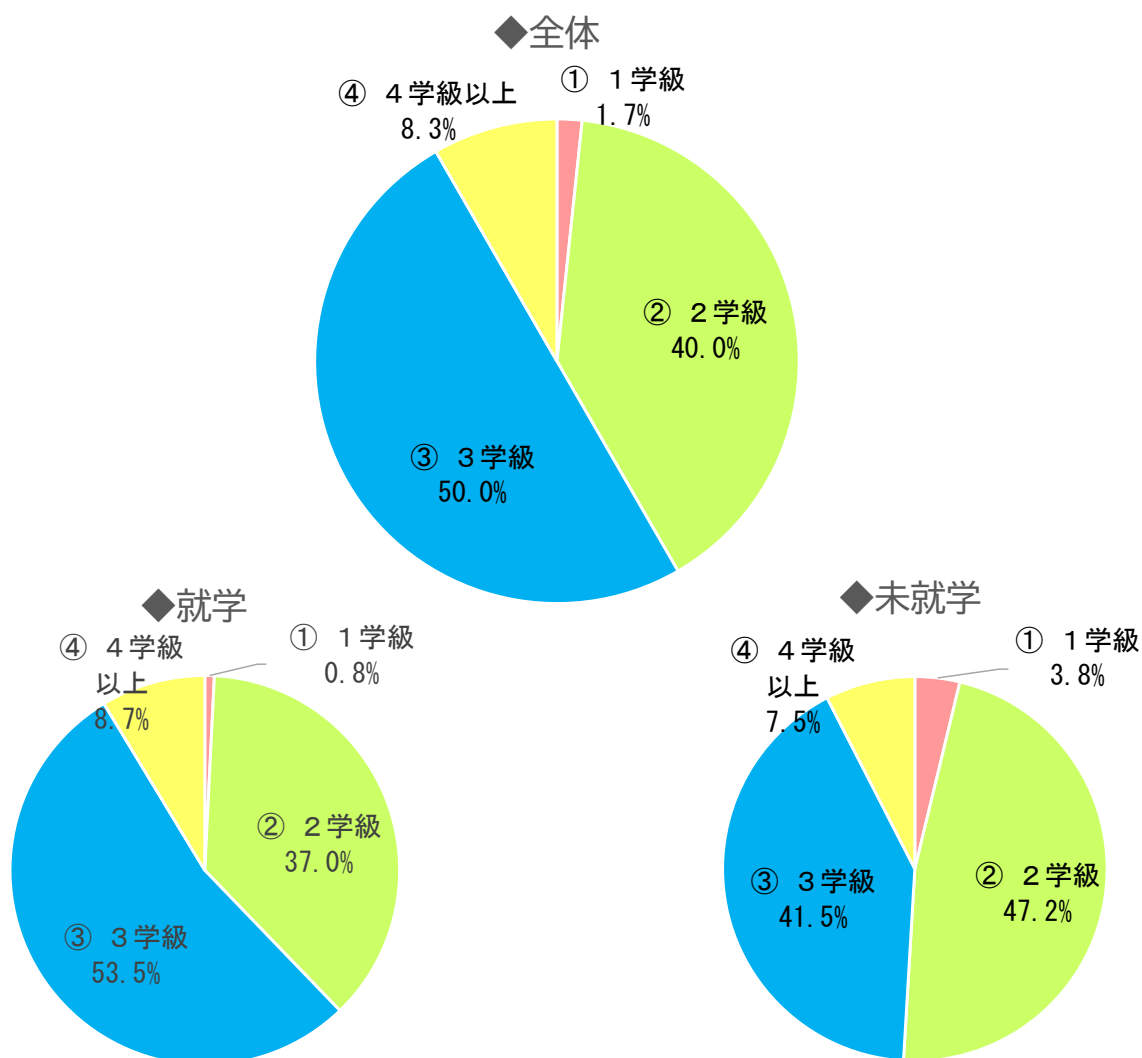
◆就学児

- ・包括的な意味で安全が確保されていること

1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。
(1つ)

●回答結果の概要

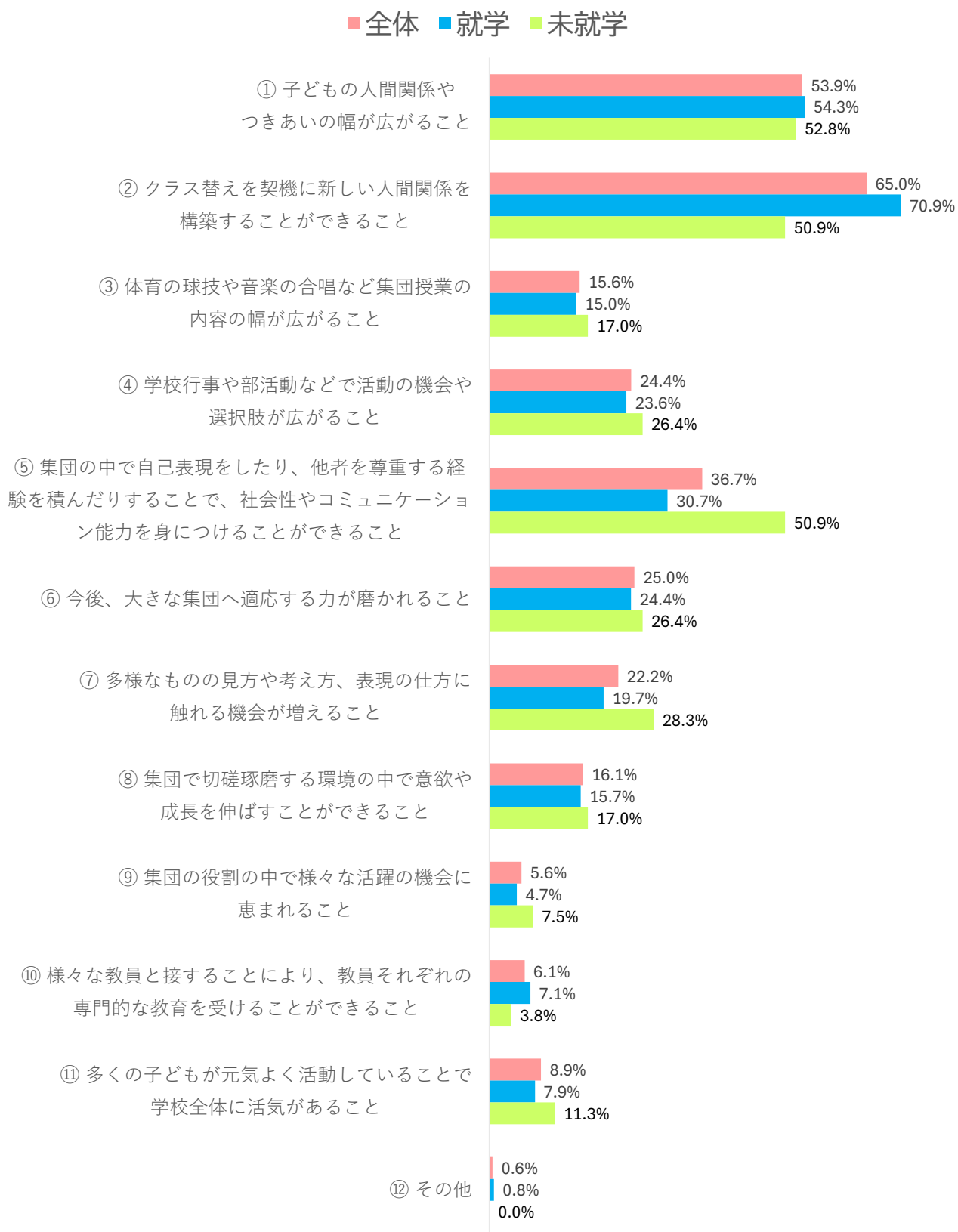
ほとんどの方が複数学級を望ましいと考えており、「② 2学級」「③ 3学級」を望む割合が多くなっています。「① 1学級」を選んだ方は「全体」では1.7%となっています。



3 各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係やつきあいの幅が広がること」、「② クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」が多くなっています。



3 「⑫ その他」の回答

◆就学児

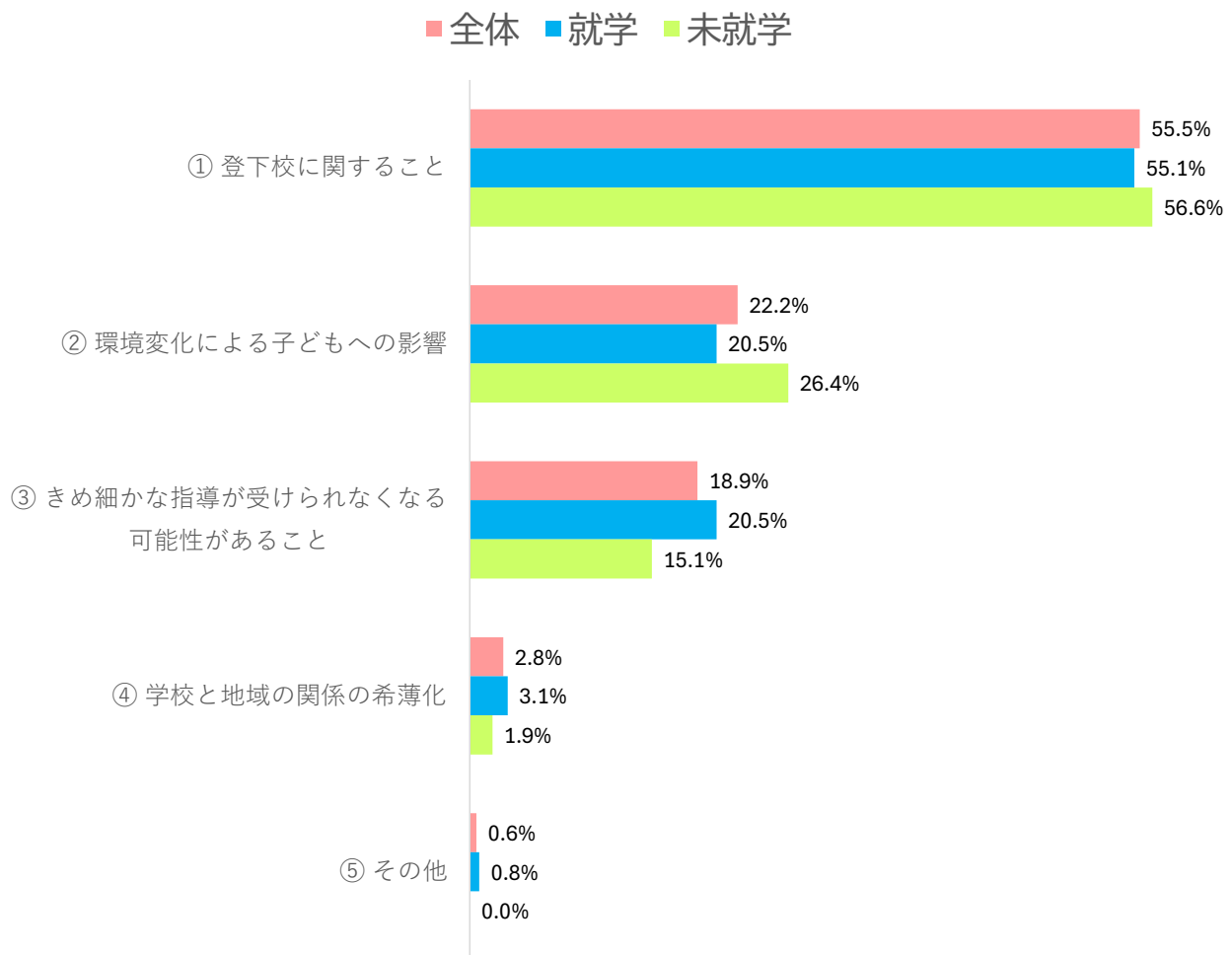
- ・ 少ないほうが、個々にきめ細かい指導をして頂けると考えます。

4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

約半数の方が「① 登下校に関すること」が心配と感じています。



「⑤ その他」の回答

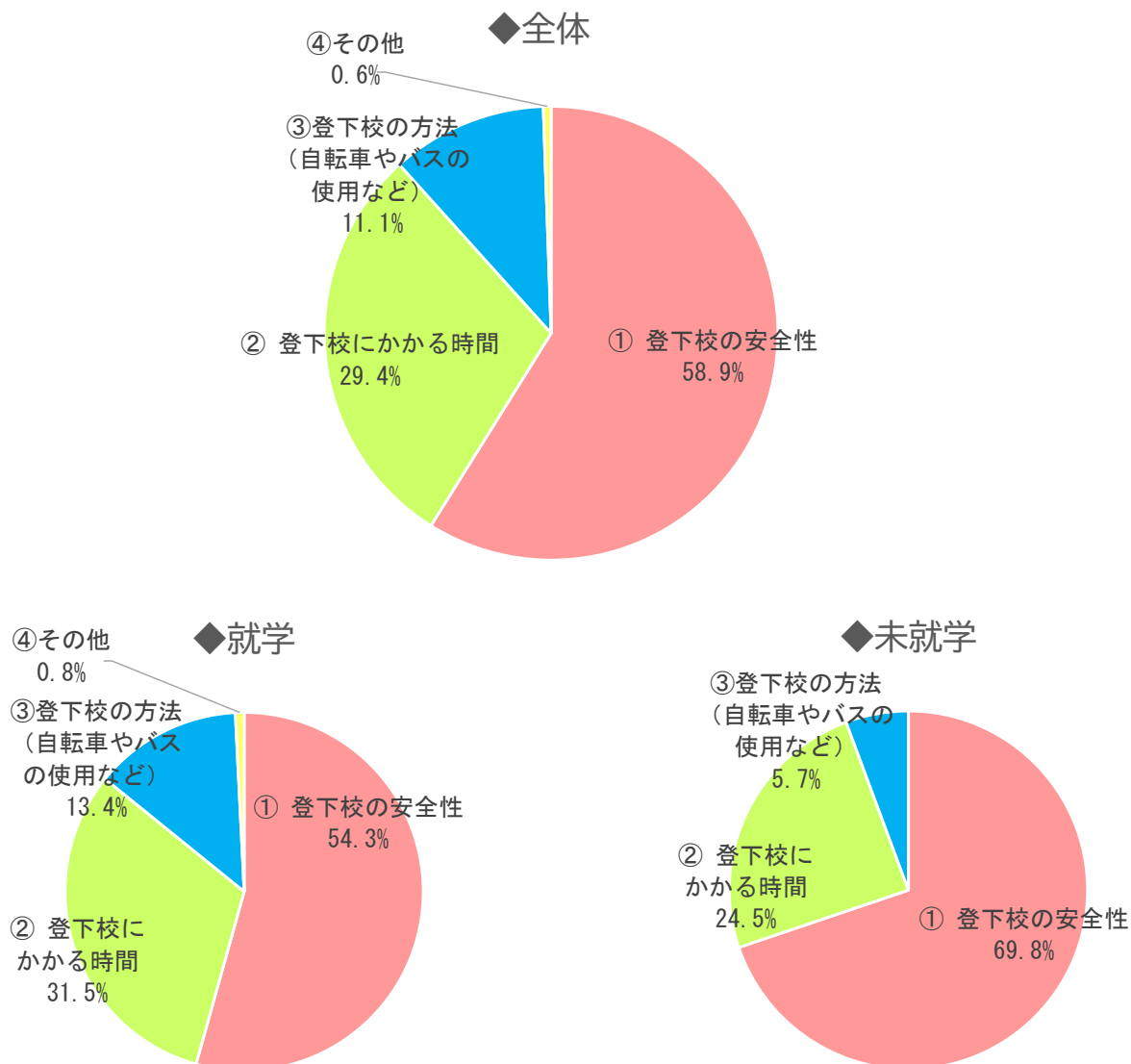
◆就学児

- ・ 包括的な意味での安全の確保。

学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

約6割の方が「① 登下校の安全性」が最も重要と考えています。「未就学」で「④ その他」を選んだ方はいません。



「④ その他」の回答

◆就学

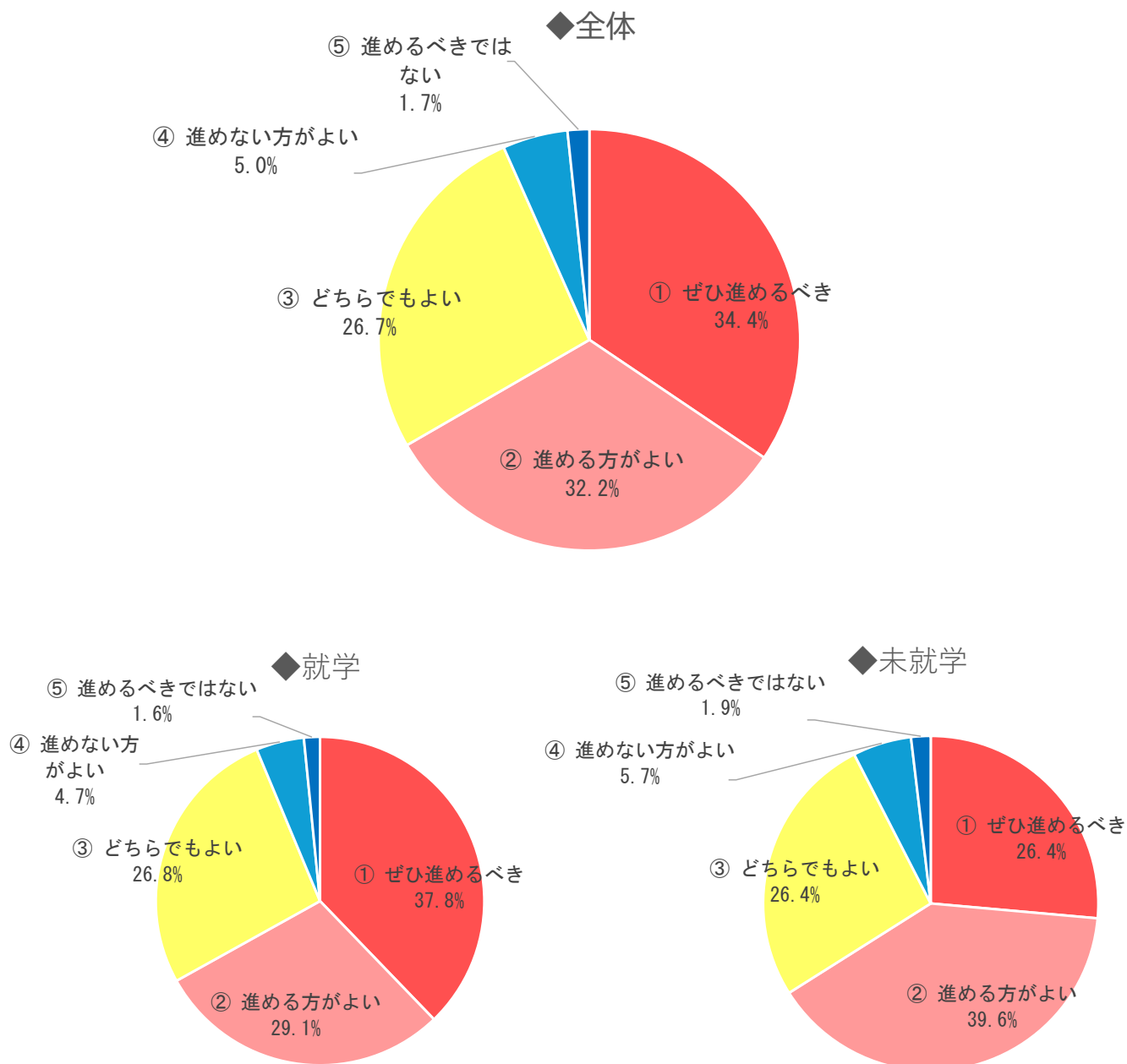
・過小規模になる高森台小を藤山台小に吸収すると良いと思う。登下校には循環バスの整備または自転車通学を検討してほしい。

市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

約65%の方が「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と考えています。

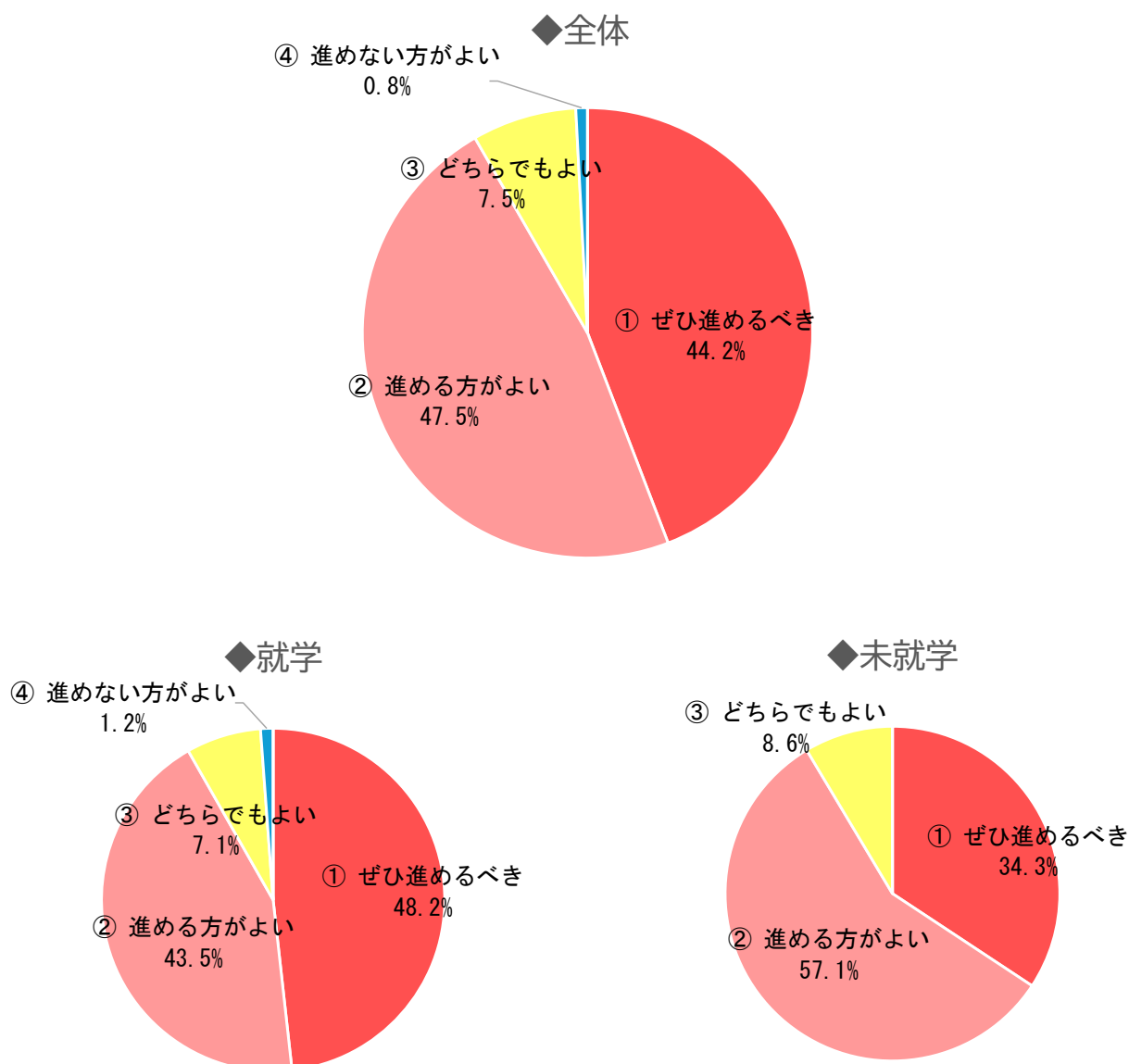
「④ 進めないほうがよい」と「⑤ 進めるべきではない」と考えている方は1割以下となっています。



6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。藤山台小学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

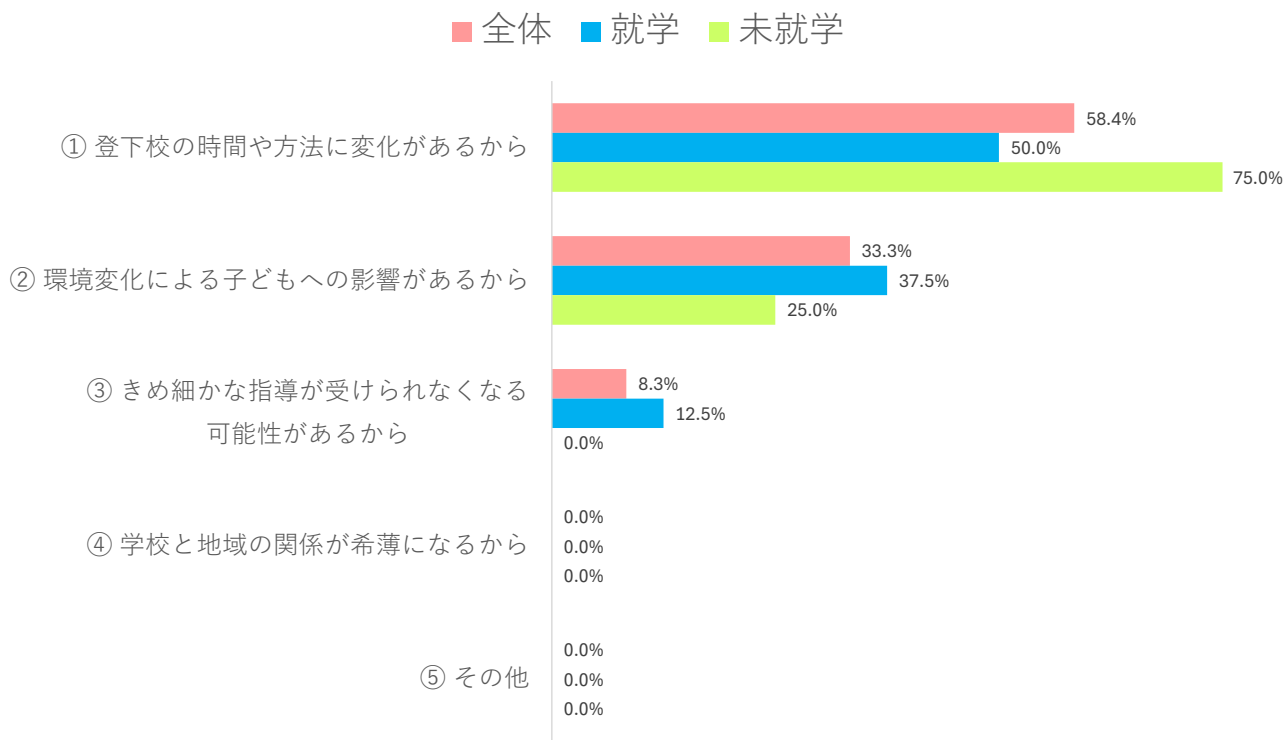
6の質問で、①又は②を選んだ方の約9割が、「藤山台小学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。「⑤ 進めるべきではない」と考えている方は「就学」「未就学」とともにいません。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

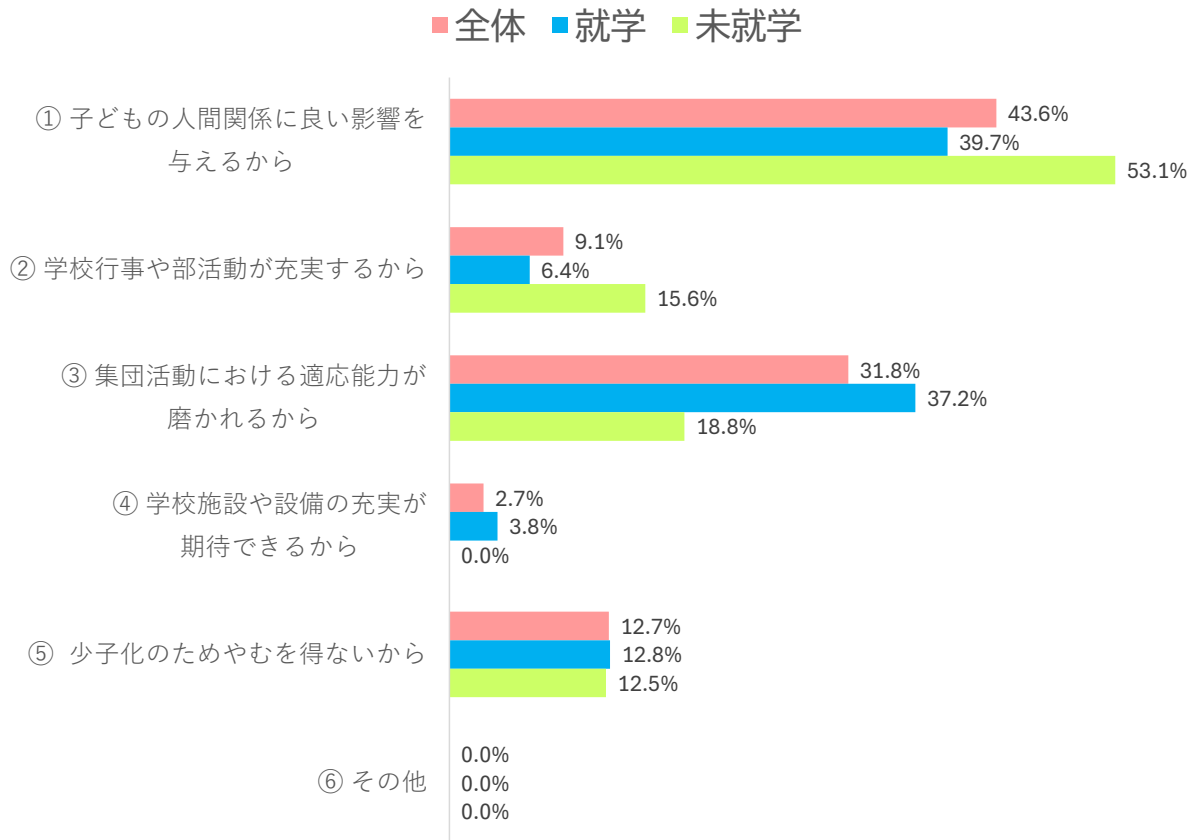
「① 登下校の時間や方法に変化があるから」が最も多く選ばれています。



7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係に良い影響を与えるから」が最も多く、次いで「③ 集団活動における適応能力が磨かれるから」が多くなっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として、最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

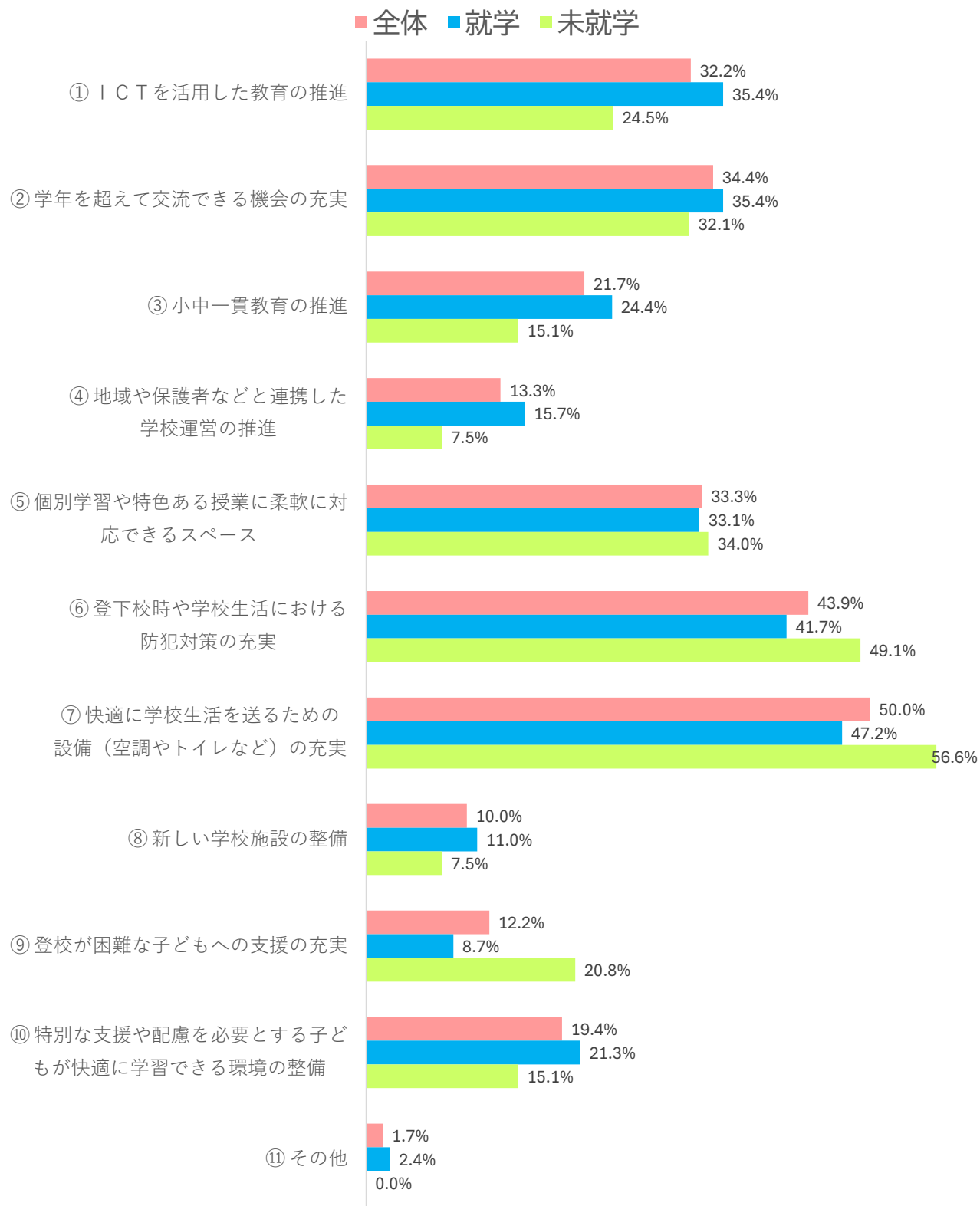
●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」が1名で、「③ きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があるから」と考えています。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

「⑥ 登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「⑦ 快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」が多くなっています。



9「⑪ その他」の回答

◆就学児

- ・個々の実力に合わせた学習。
- ・習熟度別での学習整備。
- ・中高一貫校の誘致。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp